

第二〇二回ペン川柳会

令和三年三月二十二日

お題「歌」

■塚田（拿々）
ただ

大會議ふと気がつけば四面楚歌
何楽し？鼻歌交じりのマスク美女

■松谷（零門）
れいもん

持ち歌を先に撰られて出番なし
子守歌聞かされ孫ははしやぎだし

■山縣（安兵衛）
やすべえ

今は夢放歌高唱花見酒
歌にギャルコンセプトつき秋葉キャフェ

■稲宮（井波）
いなみ

心打つ明治の唱歌今も生き
ワクチン後盛り上がろうよ酒と歌

■曾山（酩帝）
めいてい

呆け進み歌も忘れたカナリアに
初恋の僕の歌姫李香蘭

■安藤（晃二）
てるつぐ

防人へ発つ夫（せ）に万感万葉歌
老いの手をマイクと腰に歌三昧

■細谷（損得）
そんとく

川柳は引かれ者の小唄とか
カナリアも歌を忘れりや用はない

■ 西川 (酔雅) すいが

コロナ禍でカラオケ遠く呆け近し
コロナ呆け歌を忘れたカナリアに

■ 浜田 (我々好) ウイスキー

女性登用歌うマスコミ役員ゼロ
菅さんがタクトを振れど歌は出ず

■ 八木 (明迷) めいめい

歌ダメで我が師の恩も仰がれず
紅白に虹色舞った歌合戦

世話人 塚田 實 (拿々) だだ

■ 三春 (火酒) ウオツカ

音痴でも「君が代」歌う国粹派
道楽道ひだり川柳みぎ演歌

■ 大野 (だし)

革命家歌った頃が懐かしい
演歌駄目もう紅白にさようなら